

「人間と動物の境界」は地域研究の対象たりえるか？

—アフリカとメラネシアからの発信—

企画責任者：田所聖志（東京大）

ワークショップ会場（京都大学野生動物研究センター）

■趣旨

人間と動物の関わりかたは、世界各地で多様であり、その地域の特質と密接に関連している。本企画では、人間と動物とが関わりあう状況と関係性を「境界」と呼ぶ立場をとり、対象地域の特質を考察する地域研究の枠組みを考えたい。

■目的

メンバー（アフリカ研究者、メラネシア研究者）による研究発表からなる公開ワークショップの実施

■地域研究への寄与

1. 「人間と動物の境界」を地域研究のテーマとして提示すること
2. 地域・文化の境目を指すことが多い「境界」概念を広げること
3. 霊長類学・人類生態学・文化人類学の共同による地域研究を試みること

■スケジュール

第1回準備会 9/23(土) (京都大学野生動物研究センター)

第2回準備会 1/28(土) (同上)

ワークショップ 2/5(日)

於 京都大学野生動物研究センター



■メンバー

古澤拓郎（京都大学）JCAS加盟組織メンバー

伊藤詞子（京都大）

中村美知夫（京都大）

保坂和彦（鎌倉女子大）

足立 薫（立命館大学）

田代靖子（林原類人猿研究センター）

溝口大助（東京外大）

須田征志（名古屋大学）

西江仁徳（京都大学）

花村俊吉（京都大学）